

「うみかぜセミナー：発達障害と歩む」のご案内

滋賀県立大学子どもの未来応援プロジェクトでは、子どもたちの健やかな育ちを応援するため、さまざまな取り組みをおこなっています。発達心理学、栄養学、助産学分野の研究をはじめ、母子支援活動を進めて、子育てに携わっているみなさんと幅広く連携していきたいと考えています。その一環として、このたび、「うみかぜセミナー：発達障害と歩む（全4回）」を開催することになりました。本セミナーでは、主に保育士や教員、臨床発達心理士など子育て支援にかかわる方々を対象に、「保育と発達支援の専門性」を高める研修の場となることをめざしています。上記専門職以外で関心をお持ちの方々のご来聴も歓迎いたします。

＜セミナー実施日程＞

- 第1回 2010年 9月25日（土）宮崎信恵監督作品「あした天気になる？ 発達障がいのある人たちの生活記録」上映会
助言者 川島郁弘氏（社会福祉法人ひかり福祉たんぽぽ作業所センター長）
- 第2回 2010年11月13日（土）赤木和重氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究所准教授）講演
「自閉症教育で大事にしたいこと：『障害特性に応じた教育』再考」
- 第3回 2011年 1月29日（土）木下孝司氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究所教授）講演
「乳幼児期の発達と障害をもつ子どもの保育・療育」

第4回は下記の内容でおこないます。

講演 石川憲彦氏（林試の森クリニック院長）

『発達障害』の医療：効用と限界

講師プロフィール

東京大学医学部卒業。東京大学小児科助手、同精神神経科助手、マルタ大学客員研究員、静岡大学教授(保健管理センター所長)などを経て、2004年より現職。小児科医師として、長らく子どもの心と身体にかかわる問題に携わってこられました。臨床で出会った子どもたちの成長とともに、現在はおとなの問題にも対処する精神科医として活動しておられます。「それで、お子さん自身は困っておられますか？」ラジオの電話教育相談の助言者としての石川氏が、かつて毎回のように発しておられたことばです。成長し、発達する子どもたちにおとなはいかに寄り添っていけるのか、発達障害をめぐるさまざまな理解やアプローチがあるなかで、「どんな形でも生き伸び続けていくことを目的化して共有していく」治療を重視する石川氏の立場から、医療の効用と限界についてお話しいただきます。

《主著》

- 石川憲彦「キレル子と叱りすぎる親」創成社
- 石川憲彦「こども、こころ学一寄添う人になれるはず」ジャパンマシニスト社
- 石川憲彦「こどもと出会い別れるまで一希望の家族学」ジャパンマシニスト社



日時：2011年3月5日（土）13時30分～15時30分

会場：滋賀県立大学交流センター1階研修室 参加費：無料（事前登録も必要ありません。）

▼ JR彦根駅からバスで13分/タクシーで8分

▼ JR彦根駅からバスで16分/タクシーで10分

主催：滋賀県立大学人間文化学部・

滋賀県立大学子どもの未来応援プロジェクト

後援：日本臨床発達心理士会関西支部

＜問合せ先＞ 滋賀県立大学子どもの未来応援プロジェクト

〒522-8533 彦根市/坂町2500

滋賀県立大学人間文化学部 竹下秀子研究室気付

子育て応援うみかぜ

Tel: 090-7343-2405 Fax: 0749-28-8559

E-mail: usp-umikaze@nifty.com

URL: <http://umikaze.sub.jp/kodomo/home.html>

